

第2回 那須塩原駅周辺まちづくりビジョン市民懇談会 会議録（要旨）

開催日時：令和2年12月15日（火） 午後3時から午後4時30分

開催方式：オンラインによるビデオ会議

参加委員：13名（2名欠席）

事務局：3名

- 1 開 会（午後3時）
- 2 報 告（(1)(2)について事務局より報告）（(3)(4)について石井会長より報告）
 - (1) 市民アンケート調査結果について
 - (2) 高校生アンケート調査結果について
 - (3) オンラインワークショップ結果について
 - (4) グループインタビュー結果について

事務局： ただいま報告しました内容について、御質問等があればお願いします。

委員： 市民アンケートと高校生アンケートでは、サンプル数が違うので、絶対数ではなく、比率で表示した方がよいと思う。

委員： 高校生アンケートの回収率、少し低いと感じる。今後も高校生の意見を聞く機会はあると思うので、回収率を上げる方法も検討してほしい。

委員： アンケートは、自由記述欄もあったと思う。自由記述欄ほど面白い。ビジョンをつくる今の段階では反映できなくても、今後まちづくりを進めていく中での、いろいろなネタの種が自由記述欄にあると思うので、このまま捨て置かないで今後どこかのタイミングで活用していただきたい。

委員： アンケート結果から、市民も高校生も賑わいのあるまち、商業施設を中心とした街、自然豊かなところ、観光の拠点としてふさわしい那須塩原駅を望んでいることがわかる。まちづくりビジョンは30年後を見据えてということでアンケートを取っているが、30年先では夢のまた夢で、遠く消えてしまいそうである。取り組めるものはすぐにでも取り組んで、いち早く那須塩原駅周辺が活気があるものになってほしい。

事務局： 来年度、ロードマップを作成していく中で、時間軸をきちんと踏まえて、30年後をゴールとしますが、5年後、10年後と出来ることから進めていきたいと考えています。

委員： アンケート、イベントの参加についての設問について、回答者の約5割ぐ
らいの回答数になっていると思う。主催者の想定する入り込み数とどれくら
い乖離があるのか、わかれば後でもいいので教えてほしい。今後、イベント
等を行う際に参考になると思う。

3 議 事（進行：石井会長）

会 長： まちづくりビジョン（素案）について、議論をしたいと思います。今後、事
務局では、パブリックコメントを予定しているため、大きな変更については、
本日議論を尽くしたいと考えています。現在の基本コンセプトは、どこの市の
どこの駅のことかわからないという意見もありました。那須塩原らしさを出し
てもいいと思います。また、表記方法や内容、行政目線になっていないか、市
民へのメッセージとなっているかなど、皆様から御意見をいただきたい。まず
は、第3章の基本コンセプトについて皆様からコメントをいただきたいと思
います。

委員： 市民には難しいと感じる。私は、「生まれ育ち、暮らし、訪れる、若いも若き
も誇れるまちづくり」がよいのではないかと考えてきた。

委員： 気候変動に関するビジョンがない。ビジョン1と7が似通っている。市民に
愛されたと市民が主体ではない。「市民が愛し誇れるまち」のほうが良いと思
う。

委員： 全体的に難しい表現が多いと感じた。ビジョン3「個性が見えるまち」とい
うよりも、「住んでよかった」、「生活しやすいまち」という方がわかりやすい
と感じる。

委員： 基本コンセプト「美しい里山を育み、新時代を体現する静謐でちょっとやん
ちゃなまち」と考えた。環境問題を踏まえて、美しい里山を育みとし、新たな
テクノロジーにも果敢に挑戦するということを新時代を体現するという言葉に
込めた。

委員： 基本コンセプトとしては、持続可能なまちづくりというのはいいと思うが、
そこに至るまでの過程が尖っていない。どこのまちでもあるような気がする。
選ばれるまちになりづらい気がする。今までの延長線上ではなく、一段階上の
バージョンアップした那須塩原市になれば選ばれるのではないと思う。那須
塩原市のブランドメッセージが、エールなすしおばら～夢が動き出すまち～と
いうものがあるので、ビジョンのどこかに反映されているといいなと思う。

委員： 高校生アンケート非常に良いと思うが、30年後だと今の高校生も50近くになってしまう。もっと早くやらないといけないと思う。多機能スペースを作って、それが産直センターを兼ねていて、そのほかの要望も丸飲みできるのではないかと思う。シェアオフィスがあり、学習スペースがあり、観光案内所があり、保育所もある。仕事もできて、子供も預けられて、新幹線も利用できる。他にはない、取材に来てもらえるようなものができるのではないかと思う。

ビジョンについては、きれいにまとまりすぎていて、深読みする気になれない。少し残念である。

ビジョンから少し離れるかもしれないが、生食住（いしょくじゅう）にかけたんですが、人が生まれてから育てられて、働けて、死ぬる。そういう那須塩原市であってほしい。那須町の別荘などに住んでいるお客さんと話をすると、死ぬる場所がないという。無宗教の霊園がない。那須塩原市は市営の無宗教の霊園がある。駅周辺の話から少しそれるかもしれないが、30年後には、合祀がポピュラーになって、市役所の中に合祀のお墓がある時代が来てもおかしくないと思う。そういう意味で、エッジの効いた報告書にしてほしい。定住促進も生きるから死ぬるまでを入れたり、土地柄をいれたり、環境をいれたり、もう少しエッジの効いた資料にしてもらいたいと思う。

会長： 確かに、今後死ぬるというのは重要になってくる。その前の10年、20年をどういう風に過ごすかということも重要だと言われている。

資料の作り方ですが、第4章の構成について、プロジェクトのエッセンスの下に、懇談会での意見やアンケートやグループインタビューの意見を載せてもよいと思う。

委員： 基本コンセプトの持続可能（サステナブル）は、SDGs からきていると思う。SDGs は2030年に達成しようと言っている。まちづくりビジョンは30年後を目標にしているので、10年後に達成しようとしているサステナブルではどうなのか、その先の一手が必要かなと思う。サステナブルは大事だが、その先にある何かを目標にした方がよいのではないかと思う。

委員： 基本コンセプトについて、「農観商工が活発なまち」、「次世代を担う子供たちが健やかに笑顔で暮らせるまち」がよいと思う。ブランドメッセージのエアルなすしおばら～夢が動き出すまち～にあるように、住んでいる人も夢を持って楽しく暮らせるまちになってほしいと思う。

会 長： プロジェクトのエッセンスのところに加えたり、順番を入れ替えたりしてもよいと思う。

委 員： 那須塩原という言葉や地元の方が、自分事としてとらえられる言葉をいれた方がよいと思う。最初の言葉がカタカナだと、無意識に拒否反応を示す人もいるので最初にカタカナを持ってこない方がよいと思う。

委 員： 時代の変化にあわせてまちづくり、生活様式や価値観が変化している。そういった時代の変化にあわせていくことも必要ではないかと考えている。

委 員： 基本コンセプトについて、駅周辺のことを言っているのか、市全体のことなのか、曖昧な感じがする。ビジョン3「個性が見えるまち」とあるが、駅を降り立った人が個性的だなと感じるようなまちづくりが必要ではないか。

委 員： 市長も常々「県北の玄関口」と言っているので、遠慮しないでもう少しそういった文言を基本コンセプトに盛り込んでもいいのではないか。

委 員： エールなすしおばら～夢が動き出すまち～というブランドメッセージに携わった時に、那須塩原市だからこそ活躍できる人に来てほしいという話になり、このブランドメッセージになった。那須塩原市で活躍できる人と、渋谷で活躍できる人、恵比寿、赤坂で活躍できる人は全然違うと思う。これから成熟した社会になり人口が減少した時に、ただ単に人口が増えればいいのかというところではないと思う。できるだけまちにかかわってくれる人が増えた方が、幸せなのではないかと思う。チャレンジする人もいるし、応援する人もいるという文化があるということでエールなすしおばら～夢が動き出すまち～ができています。そういった選ばれるまち、選ばれる駅になるように、駅を降り立った時にそういった空気感を感じられるような駅前になっていったらいいと思います。

委 員： ビジョン4テクノロジーの活用の中で、リアリティーとバーチャルリアリティーとあるが、バーチャルリアリティーの対義語は、フィジカルリアリティーが主流なので、一考いただきたい。また、先端技術という文言があるが、IOT と置き換えてもよいと思う。

事務局： 欠席の委員からコメントをいただいているので紹介させていただきたい。基本コンセプトについて、駅は出発点であり、何か目的を持って駅に向かう。そこで、「ひともまちも成長する出発の地」というコンセプトはどうかという意見をもらっている。

また、別の委員からは、基本コンセプトについて、2度「まちづくり」という言葉が出てくるのは少しいつうしい気がする。1つめの「まちづくり」と

という言葉はなくして「サステナブル（持続可能）」を体現する…」あるいは「サステナブルなまちづくり」を体現する新たな時代にふさわしいエリアの実現というほうがよいのではという意見をいただいています。

会 長： 本日の会議の中だけでは、意見を言いきれなかった部分もあるかと思いますが、それぞれの活動に関連する分野を中心に文言等も含めて確認いただき、意見があれば事務局まで提出していただきたいと思います。

委員の皆様から御意見がなければ、進行を事務局にお返しします。

事務局： 皆様、貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。すべてを網羅することは難しいかもしれませんが、いただいた御意見の趣旨をビジョンの中に取り込まれればと思っております。まとめましたら、委員の皆様にごフィードバックさせていただきます。来週の23日を目途にパブリックコメントの実施を予定しておりますので、御意見があれば今週中にいただけましたら、修正をさせていただきます、パブリックコメントにかけたいと思います。パブリックコメントが終わりましたら、次回第3回の市民懇談会を開催させていただきたいと思っております。

4 その他（事務局からの事務連絡）

- 次回の市民懇談会につきましては、1月下旬頃を予定しております。

5 閉 会（午後4時30分）